

証紙



参議院秋田選挙区は、

村岡としひで

に投票お願い致します。

村岡としひで選挙事務所〒010-0914 秋田市保戸野千代田町2-58 2階 TEL.018-853-6081

政策1

「農業者戸別所得補償制度」再構築

- 世界的な食料危機や気候変動を広義の安全保障として位置づけるとともに、農業・農地の多面的機能を重視した農政に転換します。農村の維持・活性化に重点を置きます。
- 水田活用交付金の恒久化と付加価値のある加工と食品産業の連携で所得向上。
- 主要農産物 食料ごとの自給率目標を定める「食料自給基本計画」を策定します。
- 米の需給調整は国の責任で行うとともに、現在37%の食料自給率を50%にめざします。農業者戸別所得補償制度を再構築し、安心して営農継続できる環境を整えます。米は1万5千円／10aを補助します。



政策2

コロナ・戦争により影響を受けた中小企業・家計支援の強化

- 正社員を雇用した中小企業には、事業主の社会保険料負担を半減します。賃金を上げた場合、法人税だけでなく固定資産税や消費税の減税で支援します。
- 下請け保護制度や事業承継制度など、中小企業支援策を強化します。大企業が資源価格高騰、人件費上昇の負担を中小企業に強いいることがないようにします。
- コロナ禍で影響を受けた個人、事業者に対する税・社会保険料の猶予・減免措置を延長・拡充とともに、影響が収束するまで、事業者の消費税納税を免除します。
- コロナ禍で債務返済に窮る個人、事業者に対して、支払債務を猶予・減免します。

政策3

年金・医療・介護・子育て

- 世代間公平とともに最低保障機能を強化した新しい基礎年金制度への移行を検討し、現役世代、将来世代を支えます。
- 地域医療の充実と感染症対策の医療体制の整備。
- 児童手当や奨学金など子育て・教育支援策から所得制限を撤廃します。日本の将来を支える子どもを等しく支援するため、親の年収にかかわらず、児童手当を18歳まで一律で月額1万5千円に拡充します。子ども3人が計一千万円を支援します。児童手当のさらなる拡充やバウチャー制度を検討します。すべての子どもが人生の平等なスタートラインに立つための施策を実施します。0～2歳の幼児教育・保育無償化の所得制限をなくし、完全無償化を目指します。

政策4

教育無償化・多様性社会の実現

- 義務教育を3歳からとし、高校までの教育無償化を実現します。学校給食の無償化、学費以外にかかる副教材、修学旅行などの学年費を無償化し、義務教育課程の金銭負担をゼロにします。
- 大学や大学院等の高等教育の授業料を減免するとともに、返済不要の給付型奨学金を中所得世帯にも拡大します。卒業生の奨学金債務も減免します。
- 教育就職、賃金、政治参加、更年期対策など、あらゆる「ライフステージ」と政策における男女格差をなくします。
- 障がい、ヤングケアラー、不登校、引きこもり、外国ルーツ、性的マイノリティなどの子どもが互いを理解し、共に学べる「インクルーシブ教育」の環境をつくります。

●頒布責任者／三浦 俊一 秋田県由利本荘市石脇字石脇132 ●印刷者／秋田中央印刷(株) 秋田県秋田市新屋豊町6-43

最優先政策は命を守ること

世界最先端消化器がんセンター設立

がん死亡率全国一位の秋田県ですが、25年連続となると政治の責任が問われてもおかしくないレベルです。

これは命に直結する問題ですから、最優先で行わなければなりません。

この現状を変えるため『医療特区』を推進し、人的・技術的資源を結集した日本初の世界最先端消化器がんセンターを設立します。

私は、工藤進英先生（昭和大医学部教授）と秋田県の大腸がん治療の世界的な権威）と秋田県の高いがん死亡率の克服について話し合ってきましたが、共通する思いは秋田県に消化器がんセンターを設立しようという事でした。

そして、県民の命を救うのはもちろんですが、世界最先端の予防・検査・治療は、全国からも世界からもがんセンターに来ていただけます。

そこで、世界では成長産業に位置付けられている医療と観光のコラボで、医療ツーリズムを確立します。

早期実現には県民運動も大きな力になります。県民総意で世界一のがんセンターを設立すれば「秋田県が日本で一番がん死亡率の低い県」になります。

まずは、最優先で人の命を守る、世界最先端消化器がんセンターを設立を実現します。私は人口減少・少子化等秋田の山積する課題を解決して必ず秋田を変えます。

村岡敏英

村岡敏英Profile

昭和35年7月25日由利本荘市生れ、身長180cm、体重85kg、血液型AB。趣味：スポーツ観戦 座右の銘：一利一害
著書：「STAFF」～秘書が見た日本政治の十六年～（扶桑社） 鶴舞小卒、本荘南中卒、日大鶴ヶ丘高卒、日大商学部卒業。民間企業に6年勤務。その後、大臣政務秘書官を16年間務める。第46回・第47回衆議院総選挙で連続当選。国会質問力の高さは、衆議院議員722人中6人の三ツ星議員に選出され、「万年野党」田原總一郎会長より表彰を受ける。FM秋田の番組「What the Number」のパーソナリティを8年間務めていた。令和3年4月秋田県知事選に挑戦、193,538票獲得するも惜敗。

◆人口減・少子化対策

◆コロナ・戦争の影響に対して緊急経済対策

●農林水産業の所得向上

●脱炭素社会の実現

●給料が上がる経済実現

●中小企業支援強化

●家計減税・現金給付

●多様性社会・女性活躍

●子育て支援・教育の無償化

●外交と安全保障の強化

政策は

政見動画公開中！

QRコード

ヒストリー フレンドリー チェンジ

この男、秋田を変える。
村岡敏英

この男、秋田を変える。
村岡敏英

この男でなければならない理由。
村岡敏英

故郷の為に自分ができること
「大腸癌との戦い五十年」
昭和大学国際消化器がん研究センター長
工藤進英

政経フォーラム
2021
昭和大学国際消化器がん研究センター長
工藤進英